

瀬戸大橋開通 20 周年記念

香川県立文書館企画展示

そして橋は架かった

架橋運動の展開と香川・岡山を結ぶ5つのルート

開催期間：平成 20 年 9 月 24 日(水)から 11 月 30 日(日)まで

香川県立文書館企画展示

瀬戸大橋20周年記念

『そして橋は架かった』

架橋運動の展開と香川・岡山を結ぶ5つのルート』の開催について

- 1 趣旨 今年瀬戸大橋が開通して20周年、香川県の架橋運動のスタートからは数えて半世紀目に当たります。この半世紀に及ぶ瀬戸大橋架橋への道のりの歴史のうち、香川・岡山間の候補とされた5本のルートのうちから現ルートに決定されるまでの経過の一断面を、計画図・設計図を中心に当館の所蔵資料で紹介します。
- 2 期間 平成20年9月24日(水)～11月30日(日)
休館日：月曜日、祝日
- 3 開館時間 9：00～17：00
- 4 場所 香川県立文書館展示室（インテリジェントパーク内）
- 5 入館料 無料
- 6 主催 香川県立文書館
- 7 展示資料点数 当館の所蔵資料を中心に写真など約100点
- 8 展示の概要 瀬戸大橋は昭和63年に開通しました。昭和33年には香川県が瀬戸大橋架橋計画を作成し発表、その後、香川・岡山間の候補とされた5本のルートのうちから現ルートに決定されるまでの経過を、当館の所蔵資料である計画図・設計図、写真などや当時の新聞記事、写真パネルを紹介
- 9 主な展示資料 ・香川県による『瀬戸大橋架橋計画概要』
・香川・岡山両県による『瀬戸大橋架設計画平面図』、『瀬戸大橋ルート一般図面集』（下津井一坂出ルート、大槌一小槌ルート、宇野一高松ルート）
・建設省による『本州四国連絡橋計画図（案）』
・本州四国連絡橋公団による『本州四国連絡橋調査報告書』
・瀬戸大橋の工事担当のJV等が作成・配布した工事内容を説明した「パンフレット」類(36点)
・大久保謙之丞氏の「讃岐鉄道開業式の祝辞」の草稿の写し
・瀬戸大橋架橋運動関連の当時の新聞記事、写真パネル